

オマールヌーボーフェスタ2016
上野焼と旬のブランド果実で福智をPR

5月28日に福岡市で開かれた「オマールヌーボーフェスタ」で福智の特産品がPRされました。福智スイーツ大茶会などで連携する一流シェフ集団「博多ミラベル21」の主催で、230人が供宴を堪能。福智産イチジク「とよみつひめ」が特製スイーツに仕立てられ、オマールを使った創作料理の数々が上野焼の大皿に盛り付けられました。



↑料理の鉄人・坂井シェフも駆けつけたホテルイルパラッツォの会場を彩る上野焼。

↓森団長が見守る中、嶋野町長から勲章と勲記が手渡された武末義輝さん。



平成28年春の叙勲
武末義輝さんが栄えある受章

元福智町消防団副団長の武末義輝さん(上野)が瑞宝単光章を受章し、6月9日に伝達式が行われました。武末さんは地域の安全安心を常に意識しながら、昭和51年から35年間にわたって消防活動に尽力。台風時の長期間の出動のほか、時には一晩中災害対応にあたるなど、身をていして活動してきた功績がたたえられました。

金田小3年生 公共施設職場見学
身近な職に触れ働く意識はぐくむ

6月17日に金田小3年生が福智町役場を訪れ、議会議事堂や副町長室など日ごろ見ることのない場所を見学しました。70人の児童が3グループに分かれ、役場のほか郵便局と金田駅も訪問し、働く人の思いを直撃。身近な仕事のしくみや苦労を直接聞き、自身の将来に向けて今の勉強の大切さを考えるきっかけにもなったようです。



↑役場4階にある議会議事堂の雰囲気緊張しつつも、議長席の座り心地を確認。

↓6月16日、金田分館で行われた「3B体操」でベルトを使ったストレッチに挑戦。



平成28年度福智町高齢者大学が開講
50歳からのキャンパスライフを

50歳以上の町民が参加できる高齢者大学が5月17日に開講し、赤池58人・金田50人・方城86人の計194人が入学しました。一般教養では、バス研修や美文字レッスン、体操などがあり、午後の専門講座では、歌謡や俳句など5教室の中から選んで受講できます。参加者は仲間と充実した時間を過ごしなが、交流を深めています。

↓運転の仕方を指導後、運転士が横について、駅構内の専用線路150区間を1人ずつ運転体験します。



平成筑豊鉄道運転体験
全国の鉄道ファンに大人気!

6月4日、平成筑豊鉄道金田駅でへいちく運転体験「列車でGo!」が行われました。本物の列車を使った運転体験は、JALツアーやJR旅行などで、関東や関西などの遠方からも、多くの鉄道ファンが訪れています。「ブレーキの加減が難しく、前は急ブレーキになってしまったので、リベンジしたい。」と意気込む、今回、町外から5回目の参加者もいるほど大人気。幅広い世代の24人の参加者は、憧れの運転席で、目を輝かせながら、非日常の体験を満喫していました。

全国人権擁護委員連合会長表彰
地域密着の顕著な功績をたたえて

人権擁護活動に尽くしてきた功績が認められ、本田美津江さん(伊方)が5月26日に表彰されました。本田さんは法務大臣からの委嘱を受け、平成19年から人権擁護委員に就任。小・中学生から誰にも相談できない悩みが届く「子どもの人権SOSミニレター」への丁寧な返信など、人権擁護の視点で地域に密着した活動を意欲的に続けています。



←親切な対応で周囲からの信頼も厚い本田さん。現在は障がい者福祉を学び、考えを深めています。

↓ゲッサン4月号の表紙を飾って連載開始。異才の新人として期待されています。



福智町から連載漫画家が誕生
努力を積み重ね連載の夢つかむ

福智町弁城出身の漫画家・きゅつきゅぼんさん(27)が月刊少年サンデー「ゲッサン」で新連載「星間ブリッジ」をスタートしました。作者は4年前にふるさとを舞台にした作品でデビュー。その後も読み切りを発表し続け、今回連載を勝ち取りました。星間ブリッジは戦争によって引き離される2人の運命を描いた物語。ぜひご覧ください。